

金型と成形加工で ユニークに進化を遂げる

海外発注可
期相
企画力
自信有
コスト相
談
オンリー
ワン技術
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット
量対



同社を支える社員

業務内容

金型製造から成形加工まで
小ロットでも受注

雑貨やリモコンカバーといった身近な製品から、コピー機の部品や呼吸器等の専門的な部品まで、さまざまな金型を製作している浅井金型。

一般的な金型製造会社と違い、同社はプラスチック製品の成形加工まで行っており、完成品を提供することも可能だ。「小ロットにこだわりの1000個程度の注文を得意としています」と浅井社長。

扱う製品の多くが小ロットであるため、7名の社員でも綿密な管理と製造ができると同時に、顧客の胃口を広げる効果もあるのだ。



日用品から専門器具まで多種多様な製品群

強み

チェンジシステム金型導入で
スピードアップ&安価に

金型製作から成形加工まで一貫して工場内で行っている同社では、射出成形金型では必ず使用するモールドベイスを共有し、入れ子の組み替えにより形状の違う製品を成形する「チェンジシステム金型」を導入している。

組立等に関する新たな技術獲得の大きなきっかけとなるだけでなく、通常金型製作費より最大50%の削減が見込めて、納期も短縮できるこの画期的なシステムが、同社の大きな強みだ。

分野強化

専門学校と提携し
デザイン分野にも進出

プロダクトデザインの専門学校とコラボレーションし、デザイン性の強化にも着手した同社。学生たちに商品デザインしてもらい、同社の技術者が実現可能かどうかチェックする。この繰り返しにより、デザイン性に優れた実用的な商品図面ができあがるわけだ。「学生には、金型・成形に関するプロのアドバイスを受けられるメリットがあり、我が社はデザイン費用が無料となる。まさにWin・Winの関係です」と、浅井社長は語る。

今後の展望

コラボの進化と人材育成で
さらなる体力増強

平成24年9月1日、有限会社から株式会社へ改組を行った同社。今後はデザイン部門を必要とする中小企業を仲間に加えていき、デザイン学校とのコラボレーションシステムをさらに進化させようと考えている。

顧客ニーズの数だけ、成長の方向はある。現在も、一部では成形品の組立までを請け負っているが、今後は、顧客ニーズにに応じていく中で積極的に新しい技術を身につけていく方針だ。また、新しい人材を育て会社の体力を増強し、金型と成形ならすべて任せもらえる、小ロットに強いプラスチックメーカーに成長したいと考えている。

COMPANY PROFILE

浅井金型株式会社

大阪24

当社の歴史

昭和62年、兄と共に創業しました。コンピューターの導入等で業界全体が大きく変動し、知識も少なく資金も潤沢ではない中小企業には厳しい時代もありましたが、兄弟で力を合わせて成長してきました。平成19年には、共同出資でタイに法人を設立。現地との交流を続けると共に、日本でもさらなる発展を目指し頑張っています。

小ロットにこだわりつつ新たな技術を獲得し、
さまざまなニーズに添えていきます！

代表取締役社長 浅井 理男さん



■主な事業内容

プラスチック製品デザイン
の提案、金型製造・成形加工 等

■主な取引先(納入先)

教育用PCメーカー、
健康機器メーカー、
電子機器メーカー、
住設機器メーカー 等

住 所 / 〒583-0857

羽曳野市菅田1641

T E L / 072-956-9037

F A X / 072-956-9041

創 業 / 昭和62年5月

設 立 / 昭和62年5月

資本金 / 1,000万円

従業員 / 7名

<http://www.a-mold.co.jp/>